

## 全体朝礼 挨拶

令和6年6月10日

一学期も半分が過ぎ、3年生にとっては来月1日よりいよいよ求人票の受付、最終三者面談時期となります。6・3・3の12年と学校生活を過ごし、どの様に**成長**してこれたでしょうか。

一般に、外見の成長は、栄養と睡眠、時間の経過によって行えるものですが、内面の成長は自分の見聞き判断、行動、振り返りなど、経験からくるものが多くを占めます。

言い換えると、内面の成長は、プラス思考などを含む、自分の見方・考え方・捉え方によるところが大きく、自分次第ということになります。

したがって、体験を含む学びを続けて、高みへ内面を成長させつづけることは、人生の終焉を迎えるまで可能となるのです。

このことから学校などへの入学はあっても、その課程が修了したからといって卒学とは言わないのです。もし人が、学びを止めた時、その人の真の成長は止まるでしょう。実際、「学びはしたくない。成長しないで良い。」と、口では言ったところで、学びが終わるとは思っていないことも悟っていると思います。なぜなら成功・失敗、苦難・災害からの学びは、好むと好まざると、人生では多くの事象が切っても切れない関係性の中で起こるからです。

では、どうやってその問題を解決するか。「スムーズに捉えてストレスなく解消へと展開を図るコツ」が、「生きる知恵」と言われるものとなるのです。

話は変わりますが、例年、6割の就職希望者は卒業後すぐに。4割の進学者は2年～4年後に社会へ巣立ちます。保護者の皆様がされていらっしゃるように、皆さんには、社会に喜んでもらうなど貢献することで、その「時間」と「労力」と「情熱」の対価として給料をいただき生活をするを、常にイメージして家庭や高校で生活をして欲しいと思っています。



人の顔が違う様に、考え方、捉え方があり、それぞれの「人の想いを大切にできる隼工生でいて欲しい。」と、以前お話をしましたが、今も含めて人間社会で生活をする時、誤解などから問題となる時もあります。その時に、自分と相手の立ち位置を替えて、または、自分の姿を上から俯瞰して見るなどして物事を考えてみることは、他人への配慮が行える「**人としての成長**」には、とても有効な手段だと思えます。

時に「正義ばかりを語って、周囲との和や他人の尊厳を傷つけてはいないか。」「次に利用する人が、どう思うか。」「プレゼントされたかもしれない他人の品物に対する思いへの理解はできているか。」など、思いをめぐらすなどして皆さんには「人の想いを大切にする」人としての揺るぎない基礎を築いて、そこをベースに立ち居振る舞える「生きる知恵」を身につけることができれば、自信をもって社会生活を送れるようになるでしょう。

最後に、私も含め、人は多くの「望み」と「悩み」を抱える動物です。その「望み」や「悩み」を共有し、課題を解決する力を身につけ、共に成長し続けられる隼人工業高校に、皆さんと行えることを期待して、今朝の挨拶といたします。